

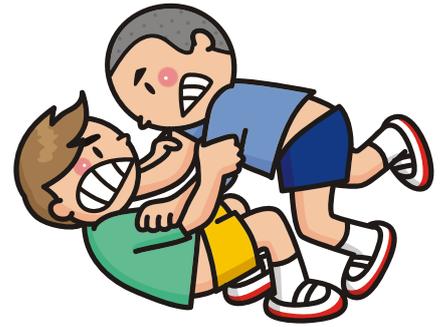


No 18 友だちとトラブルになりやすいお子さんへの対応

— 状況判断は適切にできていますか? —

下校中、前を歩いていたA君が後ろを振り向くと、B君がA君のリコーダーを手に握りしめていました。B君が「A君これ…」と言いかけた途端にA君は「何で僕のリコーダーを盗るんだよ。」と怒り出し、B君を突き飛ばしてしまいました。

それが原因で、A君とB君は取っ組み合いの喧嘩を始めました。後から、実はB君は、A君のカバンから落ちたリコーダーを拾い上げ、A君に渡そうとしていたということが分かりました。



さて、家に帰ったA君にお母さんは…

また、喧嘩したのね。お友だちに手を出したらいけないって、何回言えば分かるの！ 頭にくることがあっても我慢しなさい。あなたは、我慢が足りないの！ B君に謝りなさい！

僕は、悪くない！ B君が僕のリコーダーを盗ったんだ。悪いのは、リコーダーを盗ったB君なんだから、僕は絶対に謝らない！



< A君の言動から推測できること >

- ・ 適切な状況判断が苦手
⇒ B君が自分のリコーダーを持っているのを見て、とっさに「盗られた」と思う。
- ・ 感情のコントロールが苦手
⇒ カッとなると我慢できずに、手が出てしまう。



このような場合は、冷静に、次のような対応を心がけましょう。

- ① A君やB君の話をよく聞き、出来事を図や文字で視覚的に示す。
- ② 本人の気持ちを共感的に理解しながら、どこに誤解があったのかを明らかにする。
- ③ 喧嘩をふせぐには、どうしたらよかったのかを考えさせる。
- ④ カッとなった時の具体的な対応を決めておく。

(例) 目を閉じる、深呼吸する、その場を離れる、水を飲む、数を数える等

我慢ができたなら、すぐに寝ましょう。

